

# 警察署の統合による効果（平成29年4月～平成30年3月分）

平成30年5月

## 警察署の体制強化

### ◎ 統合後の警察署

夕張警察署  
三笠警察署  
沼田警察署

統合

栗山警察署  
岩見沢警察署  
深川警察署

### ◎ 専務系の増強、夜間当直体制の強化

専務係 → 看守勤務員、刑事課・交通課等の増強、 当直体制 → 刑事・交通当直の増強・新設

## 統合による効果（統合された警察署管内における効果）

### ◎ 警察活動における効果

専務係や夜間当直体制が強化されたことにより、駐在所員の本署への応援勤務が不要  
→ 巡回連絡、パトロール等の地域警察活動に専念できるようになったほか、初動体制の早期確立が図られた。

#### ◆ 駐在所の不在日数

統合前	→	統合後
278日		1日 (99%減少)
旧夕張署	98.5日 →	1日 (-99%)
旧三笠署	158.5日 →	0日
旧沼田署	21.0日 →	0日

※捜査や看守応援勤務により駐在所員が不在となった延べ日数

#### ◆ 巡回連絡実施数

統合前	→	統合後
11,090戸		18,485戸 (67%増加)
旧夕張署	4,082戸 →	6,797戸 (+67%)
旧三笠署	4,905戸 →	8,343戸 (+70%)
旧沼田署	2,104戸 →	3,345戸 (+59%)

※家庭、事業所等を訪問した戸数(不在の場合を含む。ただし、H28年以前は表札等により居住が確認できた場合の戸数)

#### ◆ パトロール時間

統合前	→	統合後
18,260.5時間		21,499時間 (18%増加)
旧夕張署	8,519.0時間 →	10,114時間 (+19%)
旧三笠署	4,654.0時間 →	5,760時間 (+24%)
旧沼田署	5,087.5時間 →	5,625時間 (+11%)

#### ◆ リスponseタイム

統合前(290件)	→	統合後(348件)
13分39秒		11分22秒 (約2分短縮)
旧夕張署	70件 13分20秒 →	101件 12分24秒 (-56秒)
旧三笠署	183件 14分15秒 →	203件 11分24秒 (-2分51秒)
旧沼田署	37件 11分17秒 →	44件 8分52秒 (-2分25秒)

※通信指令室が110番通報を受理し、パトカー等に指令してから警察官が現場に到着するまでの所要時間

### ◎ 事件・事故の発生状況等

刑法犯認知件数、交通事故発生件数は減少

#### ◆ 刑法犯認知・検挙件数・検挙率

	統合前	→	統合後
認知	115.0件		96件 (17%減少)
検挙	54.0件		39件 (28%減少)
検挙率	47.0%		40.6% (6.4P減少)

旧夕張署	認知	55.0件 →	39件 (-29%)
	検挙	23.0件 →	21件 (-9%)
	検挙率	41.8% →	53.8% (+12.0P)
旧三笠署	認知	48.0件 →	47件 (-2%)
	検挙	24.0件 →	16件 (-33%)
	検挙率	50.0% →	34.0% (-16.0P)
旧沼田署	認知	12.0件 →	10件 (-17%)
	検挙	7.0件 →	2件 (-71%)
	検挙率	58.3% →	20.0% (-38.3P)

※分庁舎担当区域内の自治体別認知・検挙件数の合計  
※検挙率は認知に対する検挙の割合  
※統合後の数値は暫定値

#### ◆ 交通事故発生件数

統合前	→	統合後
28.0件		21件 (25%減少)
旧夕張署	9.0件 →	8件 (-11%)
旧三笠署	14.5件 →	12件 (-17%)
旧沼田署	4.5件 →	1件 (-78%)

※分庁舎担当区域内の自治体別件数の合計

### ◎ 活動事例等

#### ● 初動対応力等の強化による早期の逮捕事案 (夕張・11月)

管内銀行から、盗難被害品の通帳を使用している者がいるとの通報を受け警察庁舎勤務員が臨場。初動対応力や事案対応力が強化されたことにより、容疑者2名を早期に割り出し逮捕した。

#### ● 当直体制等の強化による現行犯逮捕事案 (三笠・5月)

飲酒運転容疑車両の通報を受け警察庁舎勤務員が臨場し、当該車両を発見。増強した交通当直勤務員も早期臨場し、運転手を現行犯逮捕した。

#### ● 体制強化による雑踏警備の実施 (沼田・8月)

沼田町において開催された夜高あんどん祭りにおいて、統合による大規模化による利点を活かした雑踏警備を実施した。

### ◎ まとめ

巡回連絡やパトロール等の地域警察活動の強化、専務員の増強による捜査力の向上が図られたほか、刑法犯認知件数や交通事故発生件数が減少するなど、再編整備により期待された効果が一定程度認められます。今後も効果が継続されるように取り組むほか、平成32年には砂川警察署を滝川警察署に、美深警察署を名寄警察署にそれぞれ統合する予定であり、今回の検証結果を踏まえながら計画を進めてまいります。

※ 「警察活動における効果」及び「事件・事故の発生状況等」については、平成27年度及び平成28年度（リスponseタイムは平成28年度）の平均値と比較  
※ 赤色の点線枠内の数値については、3つの旧警察署管内の合計値（リスponseタイムは平均値）